

令和4年度長崎市芸術文化活動助成事業



歌い続けて半世紀！ 輝け長崎！ 輝けアカ団！

長崎アカデミー男声合唱団 創立50周年記念演奏会



とこ

2022年11月27日(日) 開演:午後2時

とこ

長崎ブリックホール 大ホール

主催 / 長崎アカデミー男声合唱団

後 援 / 長崎県、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県音楽連盟、長崎県合唱連盟、長崎新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西日本社、西日本新聞社、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

ご挨拶

本日は、ご多忙の中、私どもの「創立50周年記念演奏会」にご来場いただきありがとうございます。

当団は、昭和46年9月に結成され、現在の団員数56名（休団者含む）で活動していますが、新型コロナ感染の拡大や変異株の発生の影響もあり、今年3月までの2年余りの間、全国の合唱界の活動が止まってしまい、また団員の平均年齢が高いこともあり、他と同様に活動をほぼ休止せざるを得ない状況でした。加えてコロナ禍の影響で休団者も多く、やむなく退団されたりして、この記念演奏会を心待ちにしていた団員の方々に参加できなくなったことが残念であります。

しかしながら、50年間の活動の中で幾多の難局がありましたが、いつの時代も指導者と団員の熱意、合唱への高い志、団員のご家族をはじめ、地域のファンの皆様のご支援、ご声援をいただき今日まで長きにわたって活動を継続できましたことを全員が誇りに感じております。

そして、本日、無事に演奏会が開催できましたことを関係各位に対し厚く感謝申し上げます。振り返りますと、この演奏会までの主な活動として、令和元年10月に潜伏キリシタン関連遺産の世界文化遺産登録記念コンサートとして新上五島町を訪問し、地元の女声合唱団と演奏会を開催しました。上五島での合唱コンサートは初めてで、町内の各地域からたくさんのお客様にお越しいただき、中には涙を浮かべてお聴きいただく姿に、団員一同がこれまでのさまざまな地域活動の足跡を新たに再確認したことが思い出されます。

今回は、「歌い続けて半世紀！舞け長崎！舞けアカ団！」をテーマに創立から50年間に歌い続けた男声合唱の名曲、懐かしいヒット曲、世界の合唱曲、そして高田三郎の名曲「心の四季」を4ステージ構成で演奏します。男声合唱の魅力をお楽しみいただければ幸いです。

長崎アカデミー男声合唱団

団長 森脇 俊晴

祝辞



長崎市長
田上 富久

本日、長崎アカデミー男声合唱団創立50周年記念演奏会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

長崎アカデミー男声合唱団におかれましては、昭和46年の発足以来、半世紀という長きにわたり、長崎市民音楽祭をはじめ県内外で開催された多数のコンサートに出演されたほか、国外でも演奏活動を繰り広げるなど活発に活動を続けられ、合唱による音楽の普及や地域交流にご尽力されるとともに、合唱を通じて本市の芸術文化の振興に多大なご貢献をいただいておりますことに対し、心から感謝申し上げます。

また、ここ数年は、新型コロナウイルス感染症拡大により活動が制限される状況が続きましたが、森脇俊晴団長をはじめ長崎アカデミー男声合唱団の団員の皆様のためゆめ努力により、創立50周年という節目の年を迎えられたことに対しまして深く敬意を表します。

ご出演の皆様方におかれましては、日頃のご研鑽の成果を十分に発揮され、素晴らしい演奏会となりますことをご期待申し上げます。

本日お越しの皆様方におかれましても、重厚な響きで聴衆を魅了する男声合唱の魅力をご存分に楽しんでいただけるものと存じます。

終わりに、本日の演奏会のご盛會と長崎アカデミー男声合唱団の益々のご発展並びに皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

本日は誠にありがとうございます。

令和4年11月27日

プログラム

I. 男声合唱名曲集

1. 秋のピエロ (男声合唱組曲、月光とピエロより) (作詩:堀口 大学、作曲:清水 脩)
2. 柳河 (男声合唱組曲、柳河風俗詩より) (作詩:北原 白秋、作曲:多田 武彦)
3. 雨 (男声合唱組曲、雨より) (作詩:八木 重吉、作曲:多田 武彦)
4. Agnus Dei (男声合唱のための第二ミサ曲より) (作曲:ブノー、編曲:林 雄一郎)
5. ちいさなひとびとの (男声合唱のための典礼聖歌読本より)
(作詞・作曲:高田 三郎、編曲:須賀 敬一)
指揮:岩永 崇史 ピアノ:寺谷 陽子
6. ことばの光 (男声合唱曲、海の記憶より)
(作詞:田中 俊英、作曲:加藤 豊)
指揮:加藤 豊 ピアノ:森 愛子

II. 懐かしのヒット曲集

1. 熱き心に (作詞:阿久 悠、作曲:大瀧 詠一、編曲:石倉 健次)
2. さくら(独唱) (作詞:森山 直太郎、御徒町 風、作曲:森山 直太郎、編曲:三沢 治美)
3. 春よ来い (作詞・作曲:松任谷 由美、編曲:三沢 治美)
4. 世界に一つだけの花 (作詞・作曲:横原 敬之、編曲:三沢 治美)
5. 時代 (作詞・作曲:中島みゆき、編曲:信長 貴富)
6. 川の流れるように (作詞:秋元 康、作曲:見岳 章、編曲:遠藤 謙二郎)
指揮:加藤 豊 ピアノ:森 愛子

* 休 憩 *

III 世界を巡る 歌の旅

1. 荒城の月 (作詞:土井 晩翠、作曲:瀧 廉太郎、編曲:藤井 凡大)
2. 国の花 (作詞:パフ ジョンオ、作曲:ハム イヨ、訳詞・編曲:藤井 凡大)
3. 野薔薇 (Haidenröslein) (作詞:ゲーテ、作曲:ヴェルナー)
4. ある暗れた日に (作詞:ジュゼッペ・ジャコーザ、ルイーザ・イリッカ、作曲:ブッチーニ)
5. Sing Along (作詞・作曲:アレン・ロバート)
6. 斎太郎 (宮城県民謡、編曲:竹花 秀昭)
7. ヒポクラテスの歌 (作詞・作曲:藤井 凡大)
指揮:岩永 崇史 ピアノ:寺谷 陽子 ソプラノ:尼崎 裕子(4.)

IV. 男声合唱組曲 「心の四季」

1. 風が (作詞:吉野 弘、作曲:高田 三郎、編曲:須賀 敬一)
2. みずすまし 指揮:加藤 豊 ピアノ:森 愛子
3. 流れ
4. 山が
5. 愛そして風
6. 雪の日に
7. 真昼の星

曲目解説

I. 男声合唱名曲集

「秋のピエロ」は、いつもおどけたピエロが真実の涙を流す時は？悲壮に満ちた男声合唱曲です。「柳河」と「雨」は、同じく男声合唱組曲「柳河風俗詩」と、「雨」より、多田武彦の名曲を選びました。「雨」は全日本合唱コンクールの課題曲にもなりました。「Agnus Dei」は、ミサの終曲で、日本ではしばしば各種コンクールにも使われています。「ちいさなひとびとの」は、高田三郎の「典礼聖歌説本」より選定、3年前、新上五島町青砂ヶ浦教会での演奏会で、信者の皆さまが涙を拭きながら一緒に歌われ、感動を共有した曲です。「ことばの光」（男声合唱曲「海の記憶」より）田中俊廣作詩、加藤 豊作曲 は、2016年長崎アカデミー男声合唱団創立45周年記念演奏会の演目として委嘱された男声合唱曲の終曲。その昔、長崎に神への信仰を伝えようとしてきた伝道者たちに襲いかかる苦難。多くの人々が命を落とす中、残された伝道者たちは小さな島の教会に辿り着く。疲れ果てた人々の頭上に神の愛の光が……。その光は祈りのことばとなり、優しく輝き始める。

II. 懐かしのヒット曲集

懐かしいメロディー、思い出に残るサウンド、人が昔を思い出し、懐かしむとき、その時代に流行した名曲が常にそばにいて、また、今でもその曲を聴くたびに、その時代を思い出す。そんな数々の名曲のうち、いくつかを聴いていただきたいと思います。アカ団も高齢世代合唱団になりました。団員が選ぶ曲も、若き日を思い出す曲が多くなっていることをお許しください。

III. 世界を巡る 歌の旅

「嵐城の月」は、土井晩翠作詩、滝 廉太郎作曲で、哀愁を帯びたメロディーと歌詞が特徴で、七五調の歌詞と西洋音楽のメロディーが融合した楽曲です。編曲の藤井凡大さんは九大コーラアカデミーの常任指揮者を務められました。「国の花」は、韓国の「愛国歌」です。この歌に出てくる「ムクゲ」は生命力の強い花で「国花」に選定されています。「野薔薇」(Haidenröslein) は、ゲーテの詩に新たな命を吹き込んだドイツの作曲家ヴェルナーの曲で、日本語版でも広く歌われています。「ある晴れた日に」は、オペラ「蝶々夫人」のクライマックスで歌われます。イタリア人のブッチェニが作曲しました。舞台は明治時代の長崎、気丈に夫の帰りを待つ蝶々さんの純粋さや悲しさ、そして、愛にあふれた感動を呼ぶ曲です。「Sing Along」は、昭和40年代、NHK テレビの「ミッチと歌おう」という番組で歌われた曲です。「奇太郎節」は、宮城県、松島湾沿岸の民謡で、一般に「大漁歌い込み」の曲として有名です。「ヒポクラテスの歌」は、九大医学部の愛唱歌で、同じ九大コーラアカデミーの指揮者、藤井凡大さんの作詞、作曲です。ヒポクラテスとは古代ギリシャの医者です。

IV. 男声合唱組曲「心の四季」（吉野 弘作詞、高田三郎作曲、須賀敏一編曲）

1967年に芸術祭参加作品としてNHKで放送初演された作品。原曲は混声4部合唱。「風が」人生の長い歩みを四季にたとえ、その風景や心象を繊細なタッチで歌われる。「みずすまし」小さな水中動物みずすましの生き様を人の日常の生活や社会に移し、歌う。「流れ」急流に挑む魚たちの逞しさ。「山が」山びこの美しさに人の心が揺れ動く。「愛そして風」地に生える枯れ草は風にそよぎ、また鎮まる。昔の恋にあこがれる人の心は、いつまでもそよいでいる。「雪の日に」この曲集のクライマックスとも言える曲、純白の美しき雪に秘められた苦しみ、人の心は……。『真昼の星』陽光に満ちた空に、密やかに輝く真昼の星、素朴で慎ましく生きる人々の営みを優しく見守っている。

プロフィール



指揮
加藤 豊

愛知県出身。愛知県立芸術大学音楽学部作曲科大学院修了後、ドイツ国立ミュンヘン音楽大学作曲科に入学。1995年長崎市「復活コンサート(小澤征爾指揮)」の合唱指揮を担当。1995年から2019年にわたり12回、佐世保市民管弦楽団定期演奏会を指揮、2002年天皇皇后両陛下(当時)ご入場のための「祝典行進曲」を作曲、同年の「全国豊かな海づくり大会」にて御前演奏。2016年長崎アカデミー男声合唱団委嘱作品「海の記憶」を作曲、初演指揮。2018年長崎交響楽団第92回定期演奏会を指揮。2019年ささば文化マンスにおいてベートーヴェン作曲 交響曲第9番「合唱つき」(全曲)、園伊玖磨作曲「西海讃歌」を指揮。なお、2002、2004、2005、2015、2021年における「障害者芸術祭」で「第9交響曲」などの指揮を担当している。現在、長崎アカデミー男声合唱団指揮者、新婦人コーラス花の輪指揮者。長崎音楽家連盟理事、九州作曲家協会会員 活水女子大学名誉教授。



指揮
岩永 崇史

長崎出身。1998年九州大学文学部入学、史学科考古学専攻。在学中に九州大学男声合唱団コールアカデミーに所属し、学生指揮者を務め、同団常任指揮者の横田諭氏、長崎純心大学コールマリエ常任指揮者の松川暢男氏より音楽のみならず幅広い分野での指導を受ける。2003年より活水学院活水中学校高等学校社会科教諭。同校にてコーラス部TwinkleStarsを立ち上げ、施設訪問や他校との交流演奏、平朝コンサートなどを実施。長崎県合唱連盟事務局長(2012年～2018年)も務めた。また、合唱指揮者の大谷研二氏の活水女子大学音楽学部社会人講座「合唱指導者講座」を受講し、合唱音楽の楽しみを深めている。現在、長崎アカデミー男声合唱団指揮者の他、慕民第九の合唱指導を務めている。



ソプラノ/ヴォイストレーナー
尼崎 裕子

2007年、2009年渡伊し、オペラマスタークラスを受講。オペラ「ヘンゼルとグレーテル」「蝶々夫人」他、ブリマや主要な役で出演。ソプラノソリストとして、「レクイエム」「戴冠ミサ」「第九」、マーラー作曲「復活」他をつとめる。2009年、2012年ローマ・長崎にてソロリサイタル、交流コンサートに出演。他、声楽を田川和子、S ローチ、小谷彩子氏に師事。活水女子大学、活水中学高校、非常勤講師。ハウステンボス歌劇団学院講師、合唱団「翔」、ムジカチェレステ、ステラ、指揮者。ふたば女声合唱団、長崎アカデミー男声合唱団他、市民ミュージカルにて、ヴォイストレーナー。編曲者として「ふるさとは今も変わらず」にて日本レコード大賞企画賞を受賞。



ピアノ
森 愛子

活水高等学校音楽コース、活水女子大学音楽学部ピアノ・オルガン学科卒業。長崎県高等学校音楽コンクールにおいて金賞受賞。活水女子大学卒業演奏会出演。現在、長崎アカデミー男声合唱団、長与ブラム混声合唱団、リック・アンサンブル各件伴奏ピアニストを務める他、他合唱団のステージなども依頼を受ける。長崎県音楽連盟、長崎音楽ボランティア協会、ミンストレル コンサート ソサエティ各会員。



ピアノ
寺谷 陽子

活水女子大学音楽学部演奏学科ピアノコース卒業。第1回九州新人演奏会出演。後進の指導、また合唱団、声楽、管弦楽器の伴奏やアンサンブルでの演奏活動も精力的に行っている。活水女子大学音楽学部、同高等学校、長崎女子短期大学非常勤講師。長崎アカデミー男声合唱団、日見マードレ・コール、長崎居留地男声合唱団ピアニスト。Art De Vivre (アールヴィーヴル)メンバー。

長崎アカデミー男声合唱団



(令和4年9月、強化練習にて)

〈トップテナー〉

横田 建次	下野 康文	平田 和也	中村 信孝	小方日出雄	吉田 幸憲
益田 清	黒崎 雄三	長岡 昭	朝長 初巳	佐久間久幸	森崎 国泰
信吉 正治	久保田敦志				

〈セカンドテナー〉

大久保勝祐	宮崎 良	大和 憲一	青山 義憲	横田 碩稔	中島 信好
森脇 俊晴	吉村 圭二	梁瀬 純宏	平尾 眞一	池上 國広	古岡 仁
上戸 俊晴	本田 哲士				

〈バリトン〉

藤田 正憲	指田 卓治	坂上 剛	井手 忠	原田 繁雄	河合 昭久
松下 貴成	林 邦昭	大賀 章	前川 靖裕	橋本 純生	朝長 修治
安達 洋平	新井 忠洋				

〈ベース〉

長谷川則昭	北島 陽夫	常多 勝己	丸田 國生	吉川 祐輔	井形 宣英
高原 弘道	西川 義登	堤 慶司	横川 清	山下 齊弘	近藤 昭男
森永 健司	金子 洋三				



つねだ
形成外科

院長 吉本 浩

長崎市古川町6-34

☎ 095 (826) 6565

休診/日曜・祝日、木曜午後・土曜日午後